

# Rotary



# 週報

2022~2023年度  
国際ロータリーのテーマ

## イマジン ロータリー

### ◆理事・役員 (2022.7~2023.6)

会	長	嶋	井	利	典	
副	会	長	笠	原	英	司
幹	事	橋	高	正	剛	
副	幹	事	与	田	卓	士
理事・S.A.A.	森	本	剛	仁		
副 S.A.A.	小	林	龍	平		
会	計	日	笠	伸	之	
理事・職業奉仕	入	江	直	人		
理事・社会奉仕	原		全	伸		
理事・国際奉仕	山	田	喜	広		
理事・青少年奉仕	末	吉	賢	多		
理事・会員増強	西	岡	貞	則		
理事・プログラム	樋	口	芳	紀		
理事・親睦活動	藤	木	希	実	子	
理事・ロータリー財団	小	松	忠	男		
直前会長	岡	本	浩	三		
次期会長	相	原	利	行		

No.01359 2022.12.19 第20例会

### ◆本日のプログラム

12月19日(月)  
外部卓話  
「国会報告」  
公明党岡山県本部代表  
参議院議員  
谷 合 正 明 様

### ◆次回のプログラム

12月25日(日)  
クリスマス家族例会  
(夜間例会)



# IMAGINE ROTARY

地区のスローガン 「ロータリーの素晴らしさを体感しよう！」

クラブのスローガン 「前に進もう」

## 岡山北西ロータリークラブ

- 例会場 岡山市北区駅元町1-5  
ホテルグランヴィア岡山
- 例会日 毎週月曜日 12:30~13:30

国際ロータリー 第2690地区 第9グループ  
事務所 〒700-0902 岡山市北区錦町1-8 岡山県木材会館4階  
TEL(086)222-9590・222-0384 FAX(086)224-4288  
E-mail : hokusei@ok6rc.jp http://okayama-hokusei-rc.jp

友好クラブ 京都朱雀ロータリークラブ  
E-mail : jimur@kyotosuzakurc.com

外部卓話

<樋口会員>

小林孝一郎様を紹介させていただきます。

広島県福山市出身。岡山大学医学部医学科を卒業後、岡山大学医学部血液・腫瘍・呼吸器学内科に入局。千葉県亀田総合病院初期臨床研修医となられ、その後、札幌北楡病院内科、岡山大学病院血液・腫瘍内科、岡山記念病院、岡山労災病院の勤務を経て、平成23年に岡山県議会議員に当選され、三期12年議員を務められました。現在は松山胃腸科外科内科非常勤医をされておられます。

本日の卓話は「新型コロナウイルスの現在と未来について」となっておりまして、非常に気になる内容だと思います。しっかり聞いて学びたいと思いますので、宜しくお願いいたします。

「新型コロナウイルス感染症の現在と未来」

松山胃腸科外科 内科非常勤医 小林 孝一郎 様(岡山東RC)

世界的流行となった新型コロナウイルス感染症により、私たちの生活は一変した。新型コロナウイルスは、発症以前にウイルス量がピークを迎えること、変異により感染力が高まること、グローバル化の進展などにより、抑え込むのが非常に困難なウイルスである。実際の変異株の流入事例やウイルスそのものの特性を考えると、水際対策によりウイルスの流入を完全に防ぐことはできない。

わが国は感染爆発と死亡者を抑え込むために、以下3つの対策を行ってきた。

- ①濃厚接触者を早期に隔離するクラスター対策
- ②軽症者は主に自宅療養とし、重症者は入院を基本に役割分担による医療提供体制の維持、
- ③手指消毒とマスクを中心とした標準感染予防策や接触機会減少を狙った行動変容、である。

2021年には、国家事業としてワクチン接種が始まり、多くの国民が2回接種をした。

また、中和抗体薬など重症化を防ぐ治療が登場したが、新たに出現した変異株であるデルタ株、オミクロン株により、感染爆発の波が繰り返されている。国はブースター効果を期待して3回目、4回目のワクチン接種を実施し、重症化予防や集団免疫の維持による感染制御を試みているが、変異を繰り返し、感染力を強めるウイルスの終息はまだ見通せていない。

しかし、ウイルス自体の性質も変化しており、致死的な重症肺炎を発症していた3年前から、現在では上気道を感染の主座とした、風邪症状主体の感染症へと変化している。

国も科学的データに基づく隔離期間の短縮や医療現場の負担軽減策の実施など、変化するウイルスの特性を考慮しながら、法律や制度の運用・対応を行っている。

今後のコロナ禍の出口戦略としては、免疫の獲得により死亡リスクを抑え、死者を増やさない対策を粘り強く継続していくことが重要である。この冬はインフルエンザとの同時流行が懸念されており、体調管理はもとより、新しい生活様式の実践や両ウイルスに対するワクチン接種などを通じ、「感染症を意識」しながらの生活を送ることになる。コロナ禍の国難を国民一丸となって乗り越え、2023年がコロナ終息の年となることを願っている。



**内科医21年**

- 広島県福山市出身
- 岡山大学医学部 卒業
- 岡山大学大学院 医学部 博士課程修了(医学博士)
- 医療薬学研究会研究科 博士課程修了(医学博士)
- 重信記念病院 (千葉県南房総市)： 初期研修
- 札幌北楡病院 (北海道札幌市)： 後期研修
- 岡山大学大学院 血液・腫瘍内科： 造血幹細胞移植
- 岡山大学時代に、中西国の若手血液内科医の勉強会、造血幹細胞移植研究会を立ち上げる

感染症対策のために自ら考え、行動する。感染を繰り返さない。

平成2年(1990) 岐阜新聞

2020年 人類の半数が感染病に

病原体原虫や蚊繁殖 免疫力の低下続く

2000年 人類の半数が感染病に

● 感染症の発生 動物由来 植物

● SARS/COVID、新型インフル (例) 2009

● 感染症発生、環境破壊、グローバル化

● COVID-19： デジタル化 環境破壊の加速

● パンデミック後

● ペスト、炭疽菌芽胞、ルネッサンス

● スペイン風邪 軍事中心が国境を越え

● 呼吸器ウイルス 呼吸器系、血液系

● COVID-19： デジタル化 環境破壊の加速

コロナ流行の3年前に「予想」 「2020年、人類の半数が感染病に」

**感染症への対抗手段**

- 診断 (診断的検査) 迅速診断検査/PCR検査
- 治療・療養 (中絶的治療、オンライン診療) 抗菌薬/抗ウイルス薬など
- 予防 (ワクチン接種) 行動変容： 3密の回避/手洗い/マスク ワクチン： 病原体に特異的な免疫を付与 → 集団免疫： 正の外部性 (集団の利益)

新型コロナウイルスに戦いを挑む場所は、公衆衛生学・疫学のフィールド (臨床の場ではない) → 手動が全て

**人と人の接触を8割減らす (厚生労働省)**

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、人と人の接触を8割減らすことが必要です。

1. デスク間でオンライン会議
2. 会議は10分以内
3. オンライン会議
4. 密を避ける
5. 密を避ける
6. 密を避ける
7. 密を避ける
8. 密を避ける
9. 密を避ける
10. 密を避ける

新しい生活様式 (ニューノーマル) 密を避ける (マスクを着用し、2メートル以上)

**コロナ禍の3年**

ウイルスの世界制覇に向けた巧みな戦略

人間衝が量産した 賢さ・もろさ (脆弱性)

1. 軽症、重症を繰り返させた二刀流
2. 変異を繰り返す (鳥獣類)
3. 圧倒的な数の患者
4. インフォデミック (ゴセホタケ)
5. 人間のうんざり感の誘発

感情的になった人間の無秩序な行動を誘発

1. 差別性・二元性のある相手への脆弱性
2. 長期戦への脆弱性
3. 圧倒的な数に対する脆弱性
4. 情報に対する脆弱性
5. 感情の脆弱性

粘り強く、一丸となって...

日本の出口 (パンデミック移行) は?

重症化リスクの高い高齢者等にワクチンのブースター接種を進め、死亡リスクを下げながら、死者を増やさない対策を、粘り強く打つしかない

**まとめ**

- 新型コロナウイルス感染症の世界的流行により、私たちの生活は一変した。変異を繰り返す、感染力を強めるウイルスに対し、標準予防策の徹底とワクチン接種、治療薬の開発により制御を試みているが、いまだ終息は見通せていない
- コロナ禍の出口戦略として、変化するウイルスの特性を考慮しながら、免疫の獲得により死亡リスクを抑え、死者を増やさない対策を粘り強く継続していくことが何よりも重要である
- この冬、予想されるインフルエンザとの同時流行への備えとして、体調管理はもとより、新しい生活様式の実践や両ウイルスの接種等を通じ、「感染症を意識」しながらの生活を送ることが大切である

info@eichiro-h.net 小林孝一郎

オンライン診療

## 前回12月12日の例会記録

### 出席の状況

会員数 42名(内出席免除者 0名) 出席者数 29名  
欠席者数 13名 出席率 69.05%  
欠席者 福元, 日笠(常), 久松, 石川, 小林, 児島, 中村, 仲田, 西, 末吉, 田原, 氏房, 横山

### 会長報告

会長 鴨井 利典

先週の月曜深夜のサッカー日本代表は残念ながらクロアチアに負けてしまいましたが、その姿は日本のみならず世界に感動を与えるものであり、感謝しかありません。朝3時頃まで観戦し、翌日は歴史同好会と二次会。またその翌日は新入会員歓迎会と連チャンで、12月らしさを堪能いたしました。もちろん感染対策ありきです。



そんな中、フィギュアスケートでは日本が3つの金メダルという快挙を成し遂げ、今月は正にスポーツ月間のような感じです。

実は12月はロータリーの「疾病予防と治療月間」となっております。

今、全国的にコロナの数が増えつつあり、岡山でも昨日は2,000人を超えたようで年末年始に向け要注意な時期です。私は4回目のワクチンのおかげかどうかわかりませんが、体調の変化は何もなく元気にすごしております。しかし油断せず、大人しめに過ごしてまいりたいと思います。

本日はそんな旬のコロナについて、小林孝一郎様に卓話をいただく予定ですので、皆様の健康と安全を最優先に考える私といたしましては、よくお聞きになっていただきたいと思っております。

### 幹事報告

幹事 橋高 正剛

- ① 青森県津軽地方豪雨災害支援金につきまして、お礼とご報告が届いておりますので回覧いたします。
- ② 2023年5月27日より開催されるメルボルン国際大会につきましてご登録のお願い、日本人朝食会のご案内がありましたので回覧いたします。
- ③ 12月10日(土)松江市で「次期クラブR財団委員長研修会・地区補助金管理セミナー」が開催され相原次期会長、森本次期幹事、堀川次期R財団委員長が出席されました。
- ④ 社会奉仕委員会活動報告を配付しております。
- ⑤ バギオ基金のご案内及び2021年度事業報告書、他クラブ週報を回覧いたします。



### スマイル報告

小林孝一郎様：本日卓話を担当させていただきます。みなさんと一緒にこれからのコロナを考えていきたいと思っております。よろしくお願いいたします。

鴨井会長：小林様、本日の卓話よろしくお願いいたします。高橋峯男様、先週は応援ありがとうございました。

橋高幹事：小林孝一郎先生本日はよろしくお願いいたします。12/7の新入会員歓迎会出席の方々ありがとうございました。皆様からいただきましたお気持ちをスマイルさせていただきます。高橋峯男会員ご馳走様でした。

樋口会員：小林様、本日の卓話しっかり聞いて学びたいと思います。よろしくお願いいたします。

笠原会員：小林先生、卓話楽しみにしております。新しく入会されたメンバーの方々これからもよろしくお願いいたします。高橋さん、先日の新入会員歓迎会の折、お世話になり有難うございました。

堀川会員：昨日次年度のロータリー財団委員長研修会のために松江まで行ってきました。相原次期会長、森本次期幹事も出席されお疲れ様でした。小林孝一郎様の卓話に感謝いたします。歴史同好会が12/6開催され15名が参加し、西会員には楽しい話をしていただき、ありがとうございました。

丹治会員：小林先生、お久しぶりです。本日の卓話を楽しみにしています。

平松会員：第8波の時期に新型コロナウイルス感染症の卓話をさせていただきます小林孝一郎様に感謝申し上げます。

入江会員：先日の新入会員歓迎会に参加の皆様お疲れ様でした。楽しい夜でした。高橋会員、ご配慮ありがとうございました。

植田会員：先日の新入会員歓迎会ありがとうございました。高橋峯男様ごちそう様でした。

川本会員：岡山北西RC入会20年を超えました。沖縄県に9ヶ所目の支店をオープンしました。

森本会員：本日はたくさんのスマイルありがとうございました。 12件 41,000円 (累計777,000円)

## 委員会、同好会報告等

### 6 R C事務所移転について

岡本浩三 会員

5回目の事務局移転会議を実施し、仲田会員、岡本が出席し、オブザーバーとして鴨井会長にも出席をいただきました。鴨井会長には司会まで務めていただきましてありがとうございました。事務局の方々からは、今のままでいいのではないかとの意見もございましたが、ビルの耐震問題など事務局員の安全を考慮して移転を決定いたしております。移転先は窓の無い環境ではありますが、空調システム、排煙システムともに整っており、問題なしということで決定いたしました。



- ・移転先 第一セントラルビル（1RCは別の案を支持しましたが多数決にて決定）
- ・移転時期 4月（電話の移設が3カ月かかることも考慮）
- ・引っ越し段取りチーム 岡山東RC、岡山北RC、岡山西南RC
- ・事務所レイアウトチーム 岡山丸の内RC、岡山岡南RC、岡山北西RC

次回事務局移転会議 1月10日 16:30 岡山プラザホテル

### 新入会員歓迎会

幹事 橋高正剛 会員

12月7日「はまゆう」にて本年度入会された西新会員、石川琢磨会員、樋田道弘会員の歓迎会が開催されました。三人の挨拶と豪華な魚料理、次々に切られる珍しいお酒に舌鼓を打ちました。



### 2019-2020年幹事忘年会

2019-2020年幹事 西岡貞則 会員

12月6日(火)岡山国際ホテルにて、19-20年度会長・幹事会忘年会が開催され、山下浩一会員、西岡貞則会員が出席されました。

幹事年度が終わって3年目になりますが、緊急事態宣言期間中以外は、未だに、月1回のペースで集まって近況報告などをやっております。年に一度は会長も招待して会を開くことになり、忘年会を兼ねて開催いたしました。3名の元会長が欠席されましたが、同期幹事は全員出席となり、29名にて県南16RCの親睦を深めました。



### ゴルフ同好会

ゴルフ同好会幹事 森本剛仁 会員

開催日	主 催	ゴルフ場	連絡事項
1月21日(土)	HONU GOLF CAFÉ (山田会員)杯	たけべの森ゴルフ倶楽部	参加者募集中
2月18日(土)	西おカップゴルフコンペ(西岡会員誕生日)	倉敷カントリー倶楽部	参加者募集中

### メニュー情報

本日のメニュー (12月19日(ヘルシーランチ))

- 井 物 鶏みぞれ汁 鶏もも肉 小松菜 水菜 里芋 薄揚げ  
大根おろし 紅達磨
- 小 鉢 金平牛蒡 炒り胡麻  
温玉 美味出汁 振り柚子
- 御 飯 鮭御飯 香 物 三種 コーヒー

次回のメニュー (12月25日)

クリスマス家族例会(夜間例会)特別メニュー



前回メニュー(12月12日)：鱈のポワレ